

共生

奈良県生協連

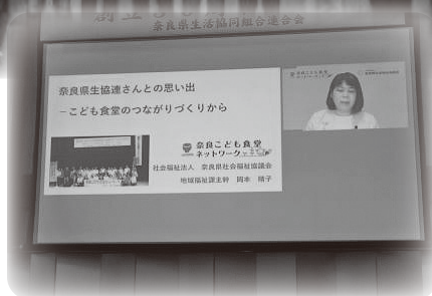
2021年1月

NO.119

おかげさまで 2020年11月21日
創立30周年記念式典を終了しました



創立30周年記念式典
記念写真



奈良県社会福祉協議会 岡本 晴子さん



映画監督 河瀬 直美さん

もくじ

新年のごあいさつ 森宏之奈良県生協連会長… 1	2020年度生協・行政協議会…………… 7
新年のごあいさつ 荒井正吾奈良県知事………… 2	奈良こども食堂ネットワーク交流会…… 8
奈良県生協連創立30周年記念式典開催… 3・4・5	関西電力・大阪ガスとの定期懇談会・他… 9
奈良県内の被爆体験集発行に向けて…………… 6	地域の力で消費者トラブルをなくそう!…10

新年のごあいさつ

**2021年、国連の持続可能な開発目標(SDGs)での課題を
身近な活動の指針として推進し、たすけあい協同の心を広げ、
諸団体や行政との連携を一層強化する年に**

奈良県生協連会長 森 宏之



奈良県生協連の会員及び組合員のみなさん、新年おめでとうございます。昨年は、奈良県生協連の様々な活動に対し、大きなご支援、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

世界の協同組合の組合員数は10億人を超え、各地域の社会のニーズに応じて約300兆円もの事業を生み出しています。また協同組合は、地球環境の保全、貧困・飢餓の撲滅、地域の雇用創出、社会的弱者への支援、再生可能エネルギーの普及、平和と安全・安心社会の実現、防災・被災者支援など多様な社会問題に取り組んでいます。さて、国連の教育科学文化機関(ユネスコ)は、協同組合を無形文化遺産に登録、「協同組合モデルを社会矛盾の最善の解決策」と位置づけています。また、2030年に向け定めた国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」では、「あらゆる人々の活躍」「地域活性化」「循環型社会」などの課題を掲げて協同組合の役割に大きな期待を寄せています。

奈良県生協連の現在の会員数は、地域生協3、大学生協4、労済生協1、医療福祉生協1、合計9つの生活協同組合で構成する連合会で、おかげ様で組合員総数は40万人を突破するにいたりました。昨年は創立30周年を迎えましたが、事業規模や分野の違いを越えてお互いに交流、地道に県連活動をす

すめてきました。地域や学園や職場で暮らしと生活を守ることをモットーに、その役割を果たしてきました。まさに国連の持続可能な開発目標(SDGs)にそった活動を蓄積してきたといえます。JCA(日本協同組合連携機構)の下、奈良県からこの全国連帯活動に参加できることを嬉しく感じておりますが、これまで奈良県生協連は、食と暮らし、平和、環境とエネルギー、福祉、防災の5つの課題にかかわってきたことを基盤にしつつ、これらの課題を国連の持続可能な開発目標(SDGs)にそったものとして捉え直し、取り組みを広げることが大切です。

今年2021年、協同組合同士の交流連携を基礎にしつつ、県行政並びに県下市町村の生活担当分野の皆様、奈良県社会福祉協議会、奈良県地域婦人団体連絡協議会をはじめとした各分野の団体の皆様とのさらなる連携強化を模索しながら、これらの5つの分野の諸課題に真摯に取り組みたいと考えます。奈良県生協連に集う会員役職員、組合員の皆様、今年の干支は辛丑(かのとうし)です。協同組合原則に則って、しっかりと足を地につけてねばり強く取り組みを前進させ、「地域共生コミュニティづくり」を一段とステップアップする年にし、今年も協同組合の活動を奈良県のすみずみに広げてまいりましょう。

新年のごあいさつ

奈良県生活協同組合連合会並びに会員生協の皆さまに、
令和3年の初春のお慶びを申し上げます。

奈良県知事 荒井 正吾



県民の皆さまの健康を守る

新型コロナウイルスが猛威を振るう時はなおさらのことですが、県民の皆さまの健康を守ることは県政の最重要課題です。県内の救急医療は充実し、がん治療も高度化してきました。県立の病院整備に努めてきたことが、コロナ対策にも役立っています。

県民の皆さまに、健康で長生きをしていただき、健康長寿日本一の県になることが奈良県の目標です。高齢者の方や子どもたちにも、充実した健康生活を送っていただけるよう、医療提供体制の整備充実だけでなく、生活環境全般が健康志向になるよう、県を挙げて全力で取り組んでいます。

健全な社会経済活動の継続

ウィズコロナ時代では、健康な生活に配慮した社会経済活動が必要です。大都市近隣の奈良県であっても、感染予防に十分な配慮をすれば、健全な社会経済活動を継続することは可能です。

県民の皆さまには、「コロナにうつらない、うつさない」最大級の配慮をしながら、できる限り通常の生活を続けていただきたいと願っています。「いまなら。キャンペーン」を今年も続けていきますので、これまで知らなかった奈良の良いところ、おいしいものを存分に楽しんでいただけたらと思います。

奈良をもっと良くするために

コロナ対策に目を奪われ、先が見通せない気分になりがちですが、奈良のより良き未来のための事業が着々と進んでいます。

昨年4月、奈良市内の県営プール跡地にコンベンションセンターが開業し、併設して最高級ホテル「JWマリオット・ホテル奈良」が7月に開業しました。また昨年5月には、奈良公園に「瑜伽山(ゆうがやま)園地」を復元し、そこにホテル「ふふ奈良」が開業しました。この2つのホテルはともに好調です。

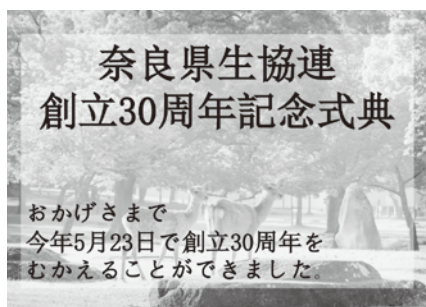
近鉄西大寺駅の高架化と平城宮跡内の線路移設の問題も大詰めを迎えています。京奈和自動車道では、大和御所道路の橿原北ICから橿原高田IC間の高架化の工事が進み、郡山下ツ道JCT以北の大和北道路の工事も始まりました。さらに奈良市では、JR新駅の設置と鉄道高架化の工事も始まります。加えて、同駅周辺のまちづくり、大和平野中央のまちづくり、国体開催に向けての様々なスポーツ施設の整備など、奈良がもっと良くなる初夢を見えています。

貴連合会並びに会員生協の皆さまにも、良い夢が届きますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

奈良県生活協同組合連合会 創立30周年記念式典を開催



11月21日、奈良ロイヤルホテルにて奈良県生活協同組合連合会創立30周年記念式典をオンライン併用で開催し、100名以上の来賓、関係者の方々にご臨席いただきました。新型コロナウイルスの感染拡大から実行委員会、理事会で検討した結果、会場の参加者は極力少なく12名程度となりました。



開会のパネル



奈良教育大生協専務 石間奈穂子理事



奈良県生協連
森宏之会長

石間奈穂子理事(奈良教育大生協専務)が司会を務め、奈良県生協連30周年のあゆみを視聴後、森宏之会長から行政や議会、友誼団体、日本生協連はじめ全国の府県連生協の仲間、会員生協への感謝の挨拶の後、来賓の方々からビデオでご祝辞をいただきました。

荒井正吾県知事からは、共助の中で公助が入った新しい協力関係の構築、奈良県民の安心につながる諸活動への期待が述べられました。中出篤伸協同組合連絡協議会委員長からは、「共有の仲間」という認識に立ち、現代社会の協同組合の価値・役割発揮に向けた取り組みについて述べられました。本田英一日本生活協同組合連合会会長からは、「協同組合が大切にしてきた新しい形の『人と人とのつながり』を模索しつつ、SDGsの基本理念である『誰も置き去りにしない』取り組みを連携して推進を」との期待の言葉をいただきました。

小林茂樹衆議院議員、佐藤啓参議院議員代理・秘書石橋利洋様にオンライン視聴参加いただき、国会議員、県議会議長、府県連生協からたくさんの祝辞やメッセージをいただきました。



30周年のあゆみパワーポイント



奈良県知事 荒井正吾様



協同組合連絡協議会委員長
中出篤伸様



日本生活協同組合連合会会長
本田英一様

河瀬直美映画監督からは「生協連の活動でもっと豊かな世界になるように」とのビデオメッセージや奈良県社会福祉協議会の岡本晴子主幹から奈良子ども食堂ネットワークづくりの経緯と「共に生きる共生の街づくりに取り組む仲間として力を合わせていきましょう」とオンラインで祝辞が述べられました。

各会員生協からは「奈良県生協連への期待」のフリップを基にコメントをいただき、Peace Now! 奈良2020実行委員から平和と生協連への期待を語っていただきました。

また、NPT代表派遣の予定者であった宮本志音さんからは学生たちの平和の取り組みを語っていただきました。

奈良県生協連の逸見啓名誉会長から初代会長繁田實造先生(故人)の紹介とお世話になった友誼団体への感謝、瀧川潔名誉会長からさらなる協同が進むように生協連の活躍に期待を述べられました。

仲宗根迪子奈良県医療福祉生協理事長(元生協連専務理事)からは「健康ですやかに生活でき、住みよい地域社会づくりのために社会へのメッセージ発信」を、辻由子奈良県生協連専門員(前生協連専務理事)から「人々の笑顔があふれる共生社会への役割発揮」を、大國康夫協同福祉会常務理事(元生協連事務局長)からは「生協連と一緒に組む合員の老後を安心できる形と一緒に考えていきたい」との期待を述べられました。

中幸司奈良県社会福祉協議会常務理事と森宏之会長との30周年記念誌対談「地域共生社会を共につくる～何をめざしてきたのか、そして何をめざすのか」では奈良県生協連への期待を語っていただきました。最後に中井信司副会長からご臨席のお礼と生協連の発展にご尽力いただいたことへの感謝を述べ新たな価値基準を見出すことで変化する時代に応じた運動と事業を上げることや、人と人のつながり、たすけあいが原点であることを自覚し、不易流行を意識して今後の活動に取り組むことへのご支援をお願いして閉会の挨拶としました。



30周年記念誌対談タイトル



中幸司常務と森宏之会長の対談(ビデオの1シーンより)



中井信司副会長閉会の挨拶



全員の記念写真

なお、記念式典は、(株)アステム(本社・大阪市北区)のスタッフ8名総出で前日のリハーサルから支援をいただき盛会裡で終えることができました。



(株)アステム スタッフ

会員生協から奈良県生協連への期待が寄せられました

(各会員生協の代表者や大学生たちが記したパネル)

会員生協の連帯で、
持続可能な世界を実現しましょう。
・・SDGsの達成に向けてのかじ取りに期待・・



小山淳二 (奈良県労済生活協同組合 理事)

奈良県生協連に期待すること
★生協間の交流を通じて
学生組合員の視野を広げる
★国際交流



加藤由美 (奈良女子大生協専務理事)



石間奈穂子 (奈良教育大生協専務理事)

コロナ禍における
協同組合間の橋渡し

奈良県立大学生協学生委員会
大田 海斗

大田海斗 (奈良県立大生協学生委員長)

2020年は奈良県連30周年
21年は奈良高専生協25周年



橋本健太 (奈良工業高等専門学校生活協同組合 理事)

「だれ一人取り残さない」

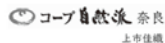
～SDGsの行動理念であり、協同組合の精神に通じています。
協同する力で解決に向けて、ともに活動を進めていきましょう～

生活クラブ生活協同組合 甲斐京子

甲斐京子 (生活クラブ生活協同組合 理事)

よこのつながり

組合員理事交流会/ピースアクション/健康チャレンジ/県への要望書

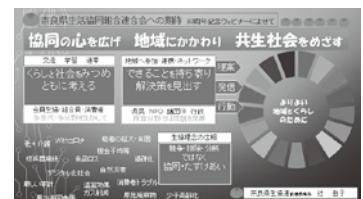


上市佳織 (コープ自然派奈良理事長)

生協運動・協同組合運動を
守り育て
社会をよくする力に



中野素子 (ならコープ理事長)



辻由子 (なら消費者ネット事務局長・前県連専務)

祝
奈良県生協連30周年

奈良県医療福祉生活協同組合 理事長 仲宗根迪子

県連に産みだされた
『いのちの分野』の
奈良県医療福祉生協

【あいちの健康】を中心に
組合員、会費生協連職員、県民の健康づくり、
保健、予防、治療に貢献できるよう研究し、
提供し、地域社会に貢献していきます。
健康な社会へのメッセージ発信を期待しています。

仲宗根迪子

(奈良県医療福祉生活協同組合 理事・元県連専務)

学生と一緒にこれからも
歩んでほしい

Peace Now!奈良2020 実行委員長
奈良県立大学 開田輝
奈良女子大学 迫田真美

Peace Now!奈良について

→奈良県大生協連で平和について考える企画

→見る、聞く、歩く、触れる、話す、考えるという参加
者の体験を重視

→学生から学生へ伝え、繋いでいく

→大学生協連生協連委員会有志が企画・運営を行っており、
青年生協連に協力をいただいている

Peace Now!奈良実行委員会

迫田真美 (奈良女子大学生) 平和への思い

2020年のびーなら

- ・開催日程：9月27日(日) 14:00～17:30
- ・参加者数：12人
- ・Zoomを用いてオンラインで開催



Peace Now!奈良実行委員会

開田輝 (奈良県立大学生)

組合員さんのケアは
「生協10の基本ケア」
「生協安心システム25」
生協県連で学習会を

コロナ禍でオンライン看護
生協ビューソールと
地域包括ケア
(思い出) ①ひとり専従
②JAの統合③日本一小さい県連
(社協) 協同福祉会あすなろ
常務理事 大國康夫



大國康夫 (協同福祉会常務理事・元県連事務局長)

大学生の平和活動
～生活を考えるということ～

奈良県立大学：宮本 志音

宮本志音 (奈良県立大学生) NPT代表派遣予定者

奈良県生協連は持続可能な開発目標SDGsの実現に向けて助け合いの組織として会員生協と共に取り組んでいきます。創立当初に掲げた「平和と住みよい町づくり」をこれからも大切に、人と人がつながり助け合い笑顔で暮らせる社会を多くの方と目指していきます。

二度と再び繰り返されないことを願って!

奈良県内の被爆者の証言集を発行します



「父ちゃんが死ぬる……父ちゃんが死ぬる……」の声は続いている。…腹の底からこみ上げて涙が次から次へとあふれてきた。こんな事があっていいんだろうか……。四十年たった今でも、何も出来なくてもせめて励ましでも慰めでもよい、なぜ声をかけてやれなかったのか。思い出す度にくやまれて涙がにじんでくる。…

被爆40年の年に、わかくさの会初代会長の故田中義治さんの体験をお聞きしましたがその時の田中さんの話とお顔…衝撃の記憶が今も蘇ります。

あれから35年、奈良県原爆被害者の会(わかくさの会)は、2006年に解散しました。わかくさの会や県内の被爆者の手記や活動の記録が散逸するかもしれない状況の中で、それを掘り起こし、継承しようとする市民と生協の協同の取り組みが始まっています。



2019年のピースカフェで報告する入谷さん

2016年広島市出身(奈良市在住)の入谷方直さん(公益財団法人美術院・国宝修理所技師)から、ならコープHPに載った市原大資元わかくさの会会長のインタビュー記事を見て問い合わせがあり、連携した活動が始まりました。

入谷さんは、広島市出身で、「被爆者のために奈良でできること」と考え、広島に3年間通い広島市が養成する「被爆体験伝承者」の認定を受けられました。そして、わかくさの会の解散を知り、「被爆者一人一人の人生を記し、残したい」と県内の被爆者や遺族の方を訪ね、わかくさの会活動当時の資料や手記を集める取り組みを進めておられます。

奈良県生協連では、創立以来「平和とより良き生活のために」を掲げ、核兵器廃絶の取り組みを進めてきました。今年創立30周年に当たり、入谷さんと連携し奈良県の被爆者の手記を冊子として3月発行をめざしています。

10月には編集委員会も発足しました。編集委員会では、この取り組みを通して、「被爆者の心(想い)に少しでも近づけるように」「そしてそれが伝わる(伝えられる)ように」「その後の人生も含めて被爆体験と受け止めて」との思い共有しながら進めていきたいと話合っています。



奈良県内の被爆者の証言集
表紙 裏表紙

2020年度「生協・行政協議会」を開催しました

11月19日、奈良県商工会議所において2020年度生協・行政協議会を開催しました。

奈良県消費・生活安全課から田中裕之課長をはじめ3名出席され、奈良県生協連役員との懇談会を行いました。奈良県生協連は、10月に「2021年度奈良県行政に向けての要望書」を提出しましたが、その要望項目に対する担当各課からの回答について丁寧に説明していただきました。

特に、コロナ禍における県行政の対応、生活困窮者支援、食品衛生指導計画の進捗状況などについて意見交換をしました。

● 奈良県生協連「2021年度奈良県行政に向けての要望書」のポイント ●

今年は、新型コロナウイルス感染拡大における影響と食品ロスなどを重点としています。

1. 安心してらせる地域づくりの施策について

- (1) 市町村への「こどもの貧困対策計画」の策定支援及び生活困窮者のへの支援
- (2) こども食堂の運営団体の支援(新型コロナウイルス対応の支援、自治体や関係機関との連携支援)
- (3) 「診療報酬に係る厚生労働大臣への意見書」の対応と患者の負担軽減への配慮
- (4) 新型コロナウイルスへの対応
 - ①奈良県大学連合「新型コロナウイルス感染症に係る奈良県下大学生についての要望書」への対応及び感染者が出た大学への不当な扱いや偏見が生じないような配慮
 - ②PCR及び抗原検査体制の拡充及び不安解消と風評被害防止
- (5) 公共施設のWi-Fi環境の整備(オンライン企画が可能な会場の増加)

2. 食の安全安心の施策について

- (1) 「なら食の安全・安心確保の推進基本計画」への予算措置と人的体制確保
- (2) 食品表示の監視指導について県政関連部局間の連携を強めた監視指導
- (3) 食品ロス削減の取り組みについて
 - ①消費者と事業者双方での情報の共有化と県民の食品ロス削減に向けた意識啓発
 - ②県行政及び各自治体の食品ロスの実態把握と施策の明確化
(食品ロスの削減施策とフードバンク奈良への活動支援)
- (4) 奈良県の食料自給率14%の向上
 - ①学校給食への地産地消の食料を取り入れ、食育の推進と県内自給率の向上
 - ②農地の有効利用の各施策と食料自給率向上との連動

3. 消費者行政の推進について

- (1) 特定非営利活動法人なら消費者ねっとの適格消費者団体認証に向けた継続的支援
「なら消費者ねっと」への個人情報保護に支障のない範囲での情報提供
- (2) 排水工事等をはじめ各種工事事業者によるトラブル防止に向けた事業者への指導・監督
- (3) キャッシュレス化による消費者被害防止のために、当事者だけでなく地域の相談窓口や民生委員など地域を守る立場の方々へきめ細かく対応できる体制確保と情報提供

奈良こども食堂ネットワーク交流会が 開催されました

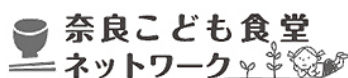
10月31日橿原市分庁舎の入る複合施設ミグランス4階のコンベンションホールで、奈良こども食堂ネットワーク交流会が開催されました。当日は23名参加のうち新型コロナウイルス感染症対策として5名のオンライン参加と18名の実出席となりました。奈良県社会福祉協議会の岡本晴子さんから、今年度から奈良こども食堂コーディネーター（奈良県委託事業）となった柴崎智美さんを紹介された後、「県内子ども食堂の状況」について報告がありました。6月1日～5日頃に奈良こども食堂ネットワーク会員57団体（回答は48団体）に「＝コロナ禍における「こども食堂」の今とこれから＝奈良県内緊急ヒアリング＝」を実施し、「不安や自粛の雰囲気、会場の休館などで8割から9割の子ども食堂が休止となり、52%の子ども食堂が配食や、宅食、フードパントリーなど子ども緊急支援に着手され、その中で子どもや子育て世帯の深刻な状況に遭遇した」と報告がありました。10月のアンケートでは45団体から回答があり「集会型の子ども食堂の再開予定が立っていない」が半数を占めているなど報告がありました。



奈良県社会福祉協議会 岡本 晴子さん



その後3テーブルに分かれセッション1では①まずはひとことリレーで名前や参加した思い②このコロナ禍の葛藤（心配だった子どもたちのこと、活動の悩みや取り組み）について、セッション2では①これからどうする？どうしたい！という内容で交流しました。最後に記念撮影をして解散しました。



参加者から

- ・クラスターを出してしまったら感染症対策が不安。
- ・同じ場所で同じものを食べる集会型から今は配食（お弁当を配る）しているが本当に届けたいところに届いているのか悩んでいる。（食費は増えているけれど）
- ・配食することで親の顔が見える関係になって話ができるようになってきた。
- ・5月から廃園の幼稚園を利用して朝食型のこども食堂を考えていたが新型コロナウイルスでまだ開催できていない。
- ・地域によって公民館など休館したり、調理室が使えなかったりするので会場をどうすればいいのか。
- ・SNSの使い方をどうしていけばいいのか。

コロナ禍でのこども食堂の状況

（10月アンケート回答45団体）

再開された団体、再開できない団体共に感染症対策には悩まされています。また公的な会場が閉鎖や施設を限定しているので場所の確保にも苦慮されています。

再開された団体の意見

- ・ひとり親家庭などコロナの影響を大きく受けている家庭、コロナで孤立した子育て家庭への精神的なケアが必要。
- ・もしクラスターでたらと思うと不安だし複雑。

再開の見通しが立たない団体の意見

- ・保護者からい配と声があり慎重になっている。

再開に向けて

- ・見過ごせない配な家庭に、配食や見守り相談などを行っている。
- ・ボランティアさんの関心が薄れないようにしたい。

関西電力・大阪ガスとの定期懇談会

関西消費者団体連絡懇談会として、11月10日は関西電力と電気事業経営問題懇談会、11月12日には大阪ガスとの懇談会が開催され、奈良県生協連として2名出席しました。毎年、全大阪消費者団体連絡会が代表世話人となり関西の消費者団体や生協連と懇談の場を設けています。

関西電力とは今年は2つのテーマに絞って設定しました。金品受領問題に対する関西電力の業務改善計画の進捗状況の報告を受け意見交換。もう一つは原子力発電の持続可能性をめぐる意見交換をしました。



大阪ガスとの懇談会の様子

大阪ガスとは、コロナ禍での取り組みをテーマに意見交換をしました。まずDaigasグループの取り組みの報告を受けました。次に大学生協を含む生協の事業などのコロナ対応や事業状況や奈良県生協連が関わるフードバンク奈良の活動紹介の機会も与えられました。

エネルギー供給会社として、菅首相の『2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ宣言』に対する事業への影響を伺いました。2社とも国のエネルギー政策の具体化に応じ、まずは足元でできることから脱炭素化を進めるとの回答でした。

第17回 (2020年度) 大阪地区消費者対話集会 ～日本化学工業会懇談会～

11月25日、2020年度大阪地区消費者対話集会がオンラインで開催されました。日本化学工業協会（以下、日化協）主催で、日化協加盟企業と消費者団体と対話することを目的に毎年秋に開催され、今回は「生分解性プラスチック」がテーマでした。

消費者側から9名（全大阪消費者団体連絡会、奈良県生協連、コンシューマーズ京都、コープきんき事業連合）、企業側は、加盟企業9名（昭和電工株、三菱ケミカル株、日化協事務局）が参加しました。

樋口俊彦部長（日本化学工業協会化学品質管理部）から「海洋プラスチック問題に対する科学業界の取り組み」報告、田岡正雄工学博士（国立研究開発法人産業技術総合研究所）から「生分解性プラスチックとバイオマス由来プラスチックの環境に優しい使い方」報告、大阪消団連「家庭のプラごみ調査中間報告」を基に意見交換をしました。

関西広域連合応援訓練に参加しました

関西広域連合では関西圏域における緊急物資円滑供給システム構築のために南海トラフ巨大地震等の大規模広域災害に際して関西広域連合が民間物流事業者と連携した“物資の輸配送”、民間流通事業者と連携した“物資の確保”、関西の広域防災拠点の“ネットワーク化”を図ることにより、大規模広域災害時に緊急物資等を円滑に供給するシステムを構築することとしており、奈良県生協連も参加しています。

災害発生時の広域応援体制強化のために12月2日に応援訓練が開催され、物資協議会26団体（府県連、地域生協）、行政12団体、広島ブロック4団体が参加し、オンラインで実施されました。

午前のワークショップでは、物資要請手配票の記入訓練として「ニーズ調査票」と「要請発注・出荷連絡・輸送手配票」（右図）に基づき県からの物資要請に応え、対応しました。午後の図上演習では、備蓄物資輸送訓練及び物資調達訓練として要請に基づいて調達された物資を被災市町村へ届けるためのトラックの手配、協定企業への要請、連絡を演習しました。

国立研究開発法人防災科学技術研究所宇田川主幹研究員から他府県と民間企業が県域を越え、有事に備えた訓練を継続して実施していることへの評価と期待が出されました。今後も訓練と学習を重ね、広域連携の強化のために取り組まれます。

要請発注・出荷連絡・輸送手配票

活動
紹介

地域の力で消費者トラブルをなくそう!

特定非営利活動法人 **なら消費者ねっと**

奈良県内諸団体と専門家、行政や生協の協力で2013年に発足した「なら消費者ねっと」は安心して消費生活をすごせる地域をめざし多彩な活動を行ってきました。現在奈良県生協連が事務局を務め応援しています。今後さらに消費者や生協組合員の暮らしに役立つ団体として活動を強めようとしているところです。最近の取り組みをここにご紹介します。

「消費者の権利保護」事業を行っています

トラブルを未然に防ぐために 弁護士などの専門家が事業者に対し不当な行為の是正を求めます。



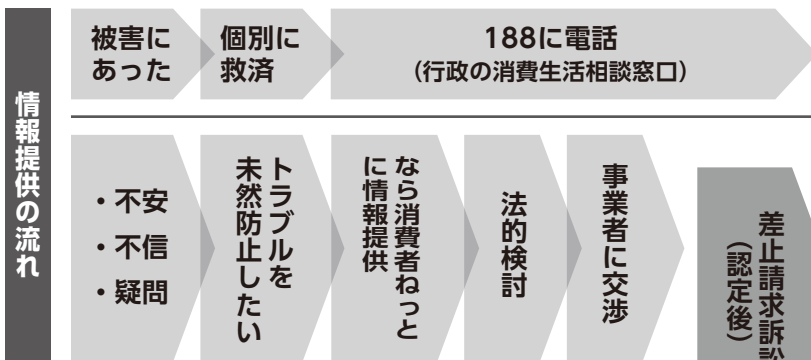
しつこい勧誘、わかりにくく消費者に不利な契約書、虚偽の広告表示など、消費者の気になる不安や疑問を収集し、弁護士や消費生活相談員など専門家が分析・検討します。不当な行為には事業者に改善を求める活動を行います。これまでに12件の事案について申入れ、そのうち7件が改善されました。また法的ルールの改正を省庁等に求める要請や、業界への意見書も送付しました。

是正を求めて改善された事例

■新聞販売店に対し過剰な景品や強引な勧誘を是正するよう申し入れ、一部改善されました。(2018年12月)

■結婚式場の中途解約で、キャンセル料負担が発生する時期が早く、高額であるため改善を求めたところ、改善の方向となりました。(2020年3月)

■WEB広告で「全身脱毛・初回無料」とある脱毛エステサロンは、実際には高額で長期契約になるため表示の改善を申し入れ、一部が改善されました。(2017年1月)



消費者団体訴訟制度では、国から認定された適格消費者団体が、消費者に代わって事業者の不当行為を差止める裁判を起こすことができます。これにより悪質事業者を抑制し消費者被害を未然防止する大きな力となるため、認定を目指して現在準備を進めています。



※カットはすべて消費者庁イラスト集より

なら消費者ねっとでは情報収集のため、無料法律相談や調査活動も行いますが、消費者からの情報提供が最も参考になります。

受付はこちら



◆その他の事業

◆啓発・消費者教育 講演会やシンポジウム、子ども・若者・高齢者など世代に合わせた出前学習会の開催。要請に応じ企画支援も行います。

◆提言事業 奈良県行政との懇談会(毎年度)、パブリックコメントの提出(随時)、その他意見交換会への参加。

◆調査研究事業 自治体の消費者行政調査(2020年度)、消費者トラブルアンケート(2018年度)、支援者団体向けトラブルアンケート(2017年度)コインパーキングの調査(2018年度)

お互いに情報交流や意見交換をしながら、消費者自身の力を高めていきます。ニュース発行やホームページで消費者問題に関する情報を発信します。また、団体同士の活動連携や、交流会なども提案していきます。

入会のご案内

◆年会費 (口数は自由。会費と寄付のみで運営しているため、会費による支援が消費者被害から守る活動の大きな力となります。)

□正会員 団体1口 2000円 個人1口 1000円

□賛助会員 団体1口 2000円 個人1口 1000円

◆賛助会員は議決権はありません。

◆お問合せ事務局: info@narasn.org

10月

- 8日(木) LPガス懇談会
- 14日(水) 近畿地区生協府県連協議会
- 19日(月) 県農業再生協議会
- 25日(日) 第1回被爆体験編集委員会
- 26日(月) 第3回組合員理事交流会実行委員会
- 29日(木) 上半期監事監査
- 29日(木) 奈良工業高等専門学校協同組合総会
- 30日(金) 奈良県食品ロス削減推進フォーラム
- 31日(土) こども食堂ネットワーク世話役団体会議・奈良こども食堂ネットワーク交流会

11月

- 10日(火) 関西消費者団体連絡懇談会(関西電力)
- 12日(木) 関西消費者団体連絡懇談会(大阪ガス)
- 19日(木) 生協・行政協議会
- 19日(木) 第4回奈良県生協連理事会
- 21日(土) 奈良県生協連創立30周年記念式典
- 25日(水) 日化協大阪地区消費者対話集会(オンライン)
- 26日(木) 日本生協連地連運営委員会・日本生協連県連活動推進会議
- 28日(土) 第2回被爆体験編集委員会
- 30日(月) ピースアクションをすすめる会

12月

- 2日(水) 関西広域連合応援訓練参加(オンライン)
- 9日(水) 第4回組合員理事交流会実行委員会(オンライン)
- 15日(火) 県消費生活協同組合指導検査(奈良県生協連)
- 16日(水) 県消費生活協同組合指導検査(ならコープ同席)
- 17日(木) 2020年度組合員理事交流会中桐万里子氏講演会(オンライン併用)
- 23日(水) 第5回30周年記念事業実行委員会

講演会

コロナ禍と気候危機

～COP26に向けて広がる『実質ゼロ宣言』と新時代の気候アクション～

講師：伊与田 昌慶氏(認定NPO法人気候ネットワーク主任研究員)

日時：2021年2月14日(日) 14:00～16:00(開場13:30)

会場：奈良県文化会館小ホール(奈良市登大路町6-2)

参加費：無料(定員100名)

主催：特定非営利活動法人サークルおてんとさん

後援：奈良県、奈良市、奈良県地球温暖化防止活動推進センター
ならコープ、(一社)地域未来エネルギー奈良

共催：奈良県生活協同組合連合会、(一財)再エネ協同基金
奈良市地球温暖化対策地域協議会

要申込み 奈良県生協連まで

TEL：0742-34-3535

FAX：0742-34-0043

※新型コロナウイルス感染予防対策を徹底します。 ※延期または中止の可能性があります。



編集後記

最近、コロナ禍もあり人ごみを避けてアウトドアにはまっています。周囲がキャンプ場のようなところに住んでいるのに何が楽しいの？と聞かれます。キャンプの非日常的な時間・空間の中で、①お気に入りの道具に囲まれて、②好きな景色を眺めながら、③好きな音楽を聴いて、④食事をたたく食べられまです。外での飲食はなぜか美味しく感じます。特に冬場は焚火にあたりながら一杯やっていると癒されます。当面は、キャンプ道具の沼(ギア道具集め)から抜けられそうにありません。

(弘)

ようやく核兵器禁止条約が1月22日に発効することになりました。歴史的な節目の時に「立ち会えたこと」に大変感動しています。しかし、これからの取り組みが大切です。保有国はもちろん核の傘のもとにいる国々の抵抗は頑強です。微力ではありますが、ぜひ、声を広げていきたいと思います。

(和)

30周年記念式典も無事終了し、温かいメッセージと大きな期待の言葉をいただきました。改めて気を引き締める思いです。2020年度は新型コロナウイルスの出現で大きく世の中が変わりました。2021年は少しでも安心できる年でありまうように。

(順)

30周年記念式典が終わり忙しさはひと段落と思ったのに、終わりのなき戦いが続いています。(笑)今年一年はコロナで始まり移動の制限などなかなか楽しい気分になることはできなかった一年でしたが、新しい年の始まり、今年が輝く一年になることを願っています。

(佳)